

金城学院幼稚園

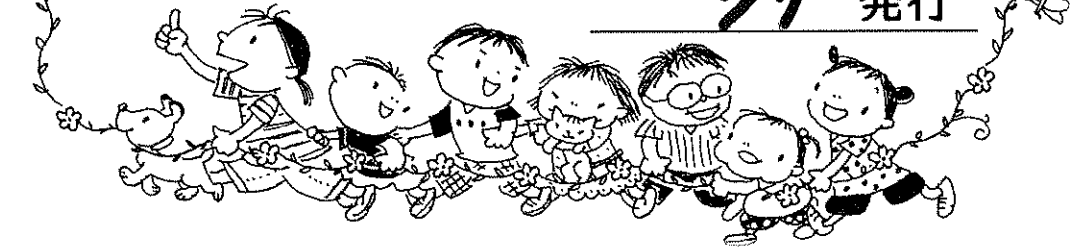
Christmas 編

2023 年度

こどもニュース

No. 14

12/7 発行



【待ち望む】

昨日の礼拝では 3 本目のろうそくに火が灯りました。一本一本ゆっくりと明かりが増えていく様子を子ども達はじーっと見えています。150人もの子ども達が集まっているのに、遊戯室はその間、何とも言えない静けさに包まれ「固唾をのんで」とはこういうことか、と感ぜられるのです。「師走」と言われる 12 月ですが、こうして心を静かにして本当に大事なことは何かを考え、一緒に感じる時間を持つてを心から感謝します。

これまでもお伝えしたように「アドベント」はラテン語で「来る」という意味ですが、子ども達に渡した「クリスマスブック」に「かみさまのおやくそく」という讃美歌が載っています。「昔、ユダヤの人々は神様と約束した救い主のお生まれを何百年も待ちました」という歌詞です。何百年も待ったということは、何世代にもわたって、待って、待って、待ち望んでいた、ということです。救い主が必ず「来て」くださると信じて待った、その中でのイエス様のご降誕だったことを考えると、「待ち望んだ」からこそ、その喜びがどれほど大きいものであったかに想いが至ります。

「くらい小さな馬小屋は全てを照らすまことの光でかがやきました」(クリスマスブックより)

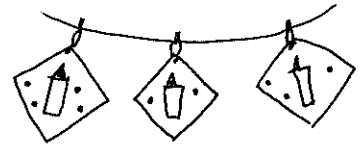
この喜びを子ども達とともにわかちあうための、おうちの方々との讃美歌練習は、すでに 2 回行われ、有志の方々のご協力のもと美しい歌声が遊戯室に響きました。讃美礼拝当日、入場してくる子ども達を迎え、また退場する子ども達を送り出す讃美は 4 年間実施できなかったのが今年度は 5 年ぶりです。

「まだ参加していない」「もっと歌いたい」方はぜひ 11 日(月)の会にご参加ください。「練

習」と名前がついていますが上手に歌えることが目的なのではありません。子ども達とともに迎える讃美礼拝が大人にとっても、より豊かなものになるようにという園の願い、また讃美歌と一緒に歌うことで子ども達と喜びを分かち合いたいというおうちの方々の願いが合わさり、長年実施されてきました。毎年、兄弟の讃美礼拝を経験されている保護者の方々が、子ども達が歌う場面のエピソードなども交えながら会をリードしてくださり、それが脈々と受け継がれてきました。

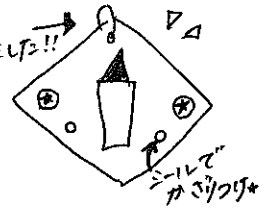
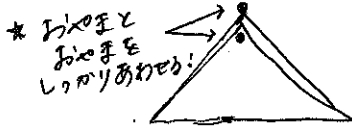
こうしてみると当たり前に行われてきたもの全てに、ここまで園に繋がってきた多くの方々の願いが込められていたことにあらためて気づきます。子どもだけではなく大人もともに「愛され、育ちあう」、それはいきなり実現するわけではなく日々のお互いへの小さな配慮や感謝、気持ちを寄せ、言葉にして伝えていくことの積み重ねの上にあるのでしょう。あと一週間となったアドベントの時期をそのような心持ちを大事に過ごしていきたいと思います。

児玉芽 

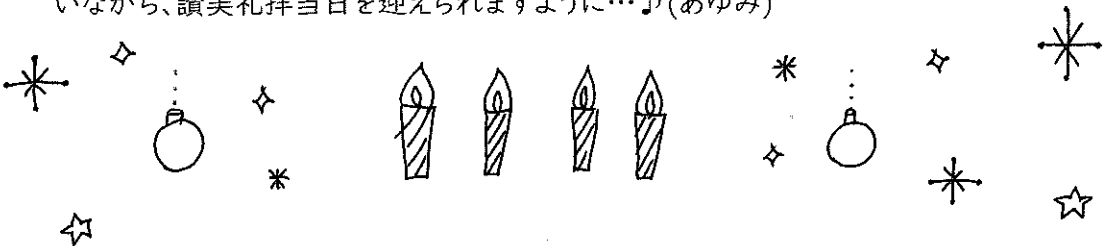


《アドベントカレンダーで讃美礼拝を心待ちに…★》

アドベントⅠに入ってから、讃美礼拝の日までを、アドベントカレンダーを使って、一日一日数えながら心待ちにしています。今年子どもたちが作ったアドベントカレンダーは、折り紙で作ったろうそくの飾りです。自分で好きな色の折り紙を選んで折りました。年少さんは、年少のあつまりで折り紙に挑戦していたこともあり、角と角を合わせて三角に折る事や、指アイロンをしっかりとかけることなどもよく覚えていて、上手に折れました♪少し難しいところは、近くに座っている年中さんや年長さんが教えてくれていましたよ♪



クラス全員のアドベントカレンダーが飾られた日が幼稚園のクリスマス、讃美礼拝の日になります。子どもたちは、いつ自分のベルが飾られるだろう?!とわくわく、ドキドキしながら、クリスマスまでの日を楽しみに待っています★嬉しい気持ちの“待つ”をみんなで共有し合いながら、讃美礼拝当日を迎えられますように…♪(あゆみ)





讚美礼拝にむけてのハレルヤが始まり、1か月が経とうとしています。
ハレルヤでは、その日行う場面に出てくる役の子どもたちが集まり、セリフや歌、動きを確認していきます。ハレルヤをする遊戯室は、讚美礼拝当日のように、イエス様がお生まれになった馬小屋をイメージし、カーテンを閉め、少し暗くなっています。

毎回、素敵な声が出るようにと、発声練習をした後、イエスさまのお誕生をお祝いすることができることに感謝し、お祈りをして、ハレルヤが始まります。そうして、遊戯室は緊張感のあるハレルヤの雰囲気になっていきます。

年長さんは、1人で歌やセリフを言う子もいれば、複数で声を合わせて…という役もあります。初めのうちは、不安げで声が小さかったり、覚えたセリフを言うのがつい早口になってしまったり…。セリフを言うことで精一杯な子も、役のその時の気持ちを考えることで、気持ちのこもった表現に変わっていきます。

ハンドベルを演奏する子どもたちは、きれいな音を鳴らすのに苦戦する子もいましたが、徐々に、きれいな音を鳴らせるようになってきました。曲としても、あゆみ先生の指揮に合わせ、鳴らすタイミングも合うようになってきました。和音の重なりのある音色に、思わず自分たちで「きれい」と声があがることも♪ 讚美礼拝当日も、心を一つにして、素敵な音色を奏でてください。

ハレルヤの終わりには、保育者から、また、子ども同士で、“こんなところがステキだった” “もっと〇〇したら、かっこよくなると思う” など、その日のハレルヤを振り返ります。そうして、お互いの良いところを出しあい、認め合うことで、次回のハレルヤへと繋げていきます。

場面ごとのハレルヤから始まり、年中さんの聖歌隊や年少さんとも一緒に作り上げていき、讚美礼拝の日を迎えます。

おうちの方も、ご家庭で、子どもたちと一緒に、讚美歌を歌ってみてください♪
そして、皆で素敵なクリスマスを迎えましょう!!

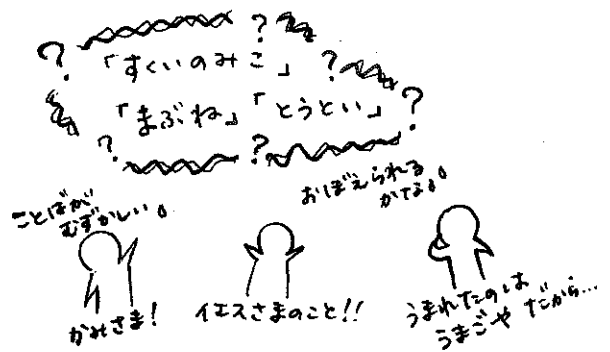
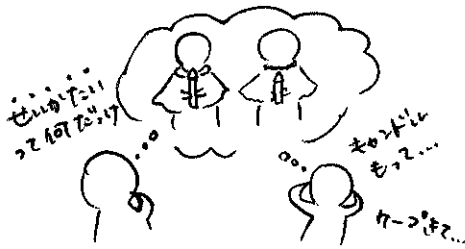
(Kumi)



年中 あつまり -ハレルヤの様子-

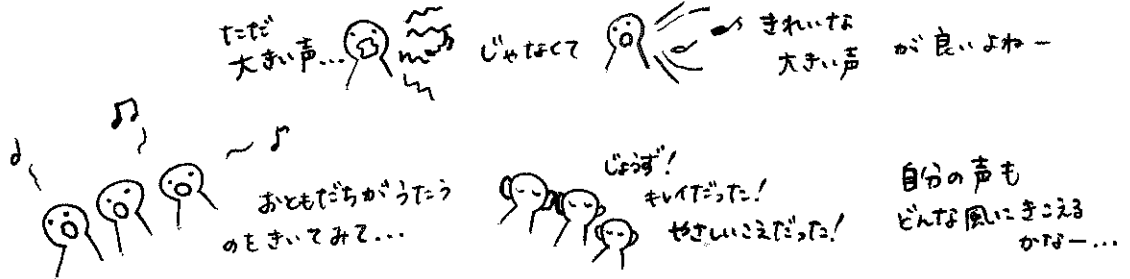
年中さんとして、聖歌隊として...

運動会の看板作りを通して、“誰かの役に立つ嬉しさ”を感じた年中さん。讚美礼拝でも“聖歌隊”を通して、クリスマスの喜びを皆に伝える役を担ってほしいと話をしました。“聖歌隊”という聞きなれない言葉にハテナ？が浮かんでいる子もいましたが、キャンドルをもって歌うことを伝えると、「あ、今の年長さんもやってた!」「白い服着るやつだ!」と昨年の讚美礼拝のことを思い出す子も多くいました。讚美礼拝に出てくる曲の中には“聖歌隊”だけで歌う曲もあります。歌をただ覚えるだけでなく、本当のクリスマスのお話を皆さんに伝えられるように、歌詞の意味も一緒に考えました。



どんな声で歌おうか...

いつも元気いっぱい讚美歌やテーマソング、季節の歌を歌っている子どもたちですが、「讚美礼拝の讚美歌はどんな声で歌う?」と聞いてみました。「きれいな声で」「優しい声かな」「みんなに聞こえるように」自分たちが楽しく歌うことはもちろんですが、聞いている相手のことを考えられる姿を嬉しく思いました。初めて遊戯室で歌った時には、ハンドベルを演奏してくれる年長さんに釘付けになり、声が小さくなってしまふ...なんてこともありました。聖歌隊が歌う讚美歌もあれば、全員で歌う讚美歌もあります。立って歌ったり、座ったまま歌ったり、覚えることもたくさんありますが、ハレルヤを通して少しずつ子どもたちと一緒にクリスマスへの準備をしていきたいと思ひます。



讚美礼拝当日、遊戯室の中いっばいに“聖歌隊”の素敵な歌声が響くのを楽しみにしててください。



年少ハレルヤ

年少さん、はじめてのクリスマス

年少さんが集まって、はじめてのハレルヤを行いました。いつものあつまりとは違い、遊戯室に集まったので今日は何をするんだろうとワクワクしている子どもたちの姿がありました。

「クリスマスって、何の日？」と年少さんたちに投げかけると、様々な答えが返ってきました。

「サンタさんがプレゼントをくれる日」

「ケーキを食べる日」

「雪が降る！」

「確か、誰かの誕生日、だったような……」とヒントを出すと

「わかった、僕のだ!!!!!!」

「お姉ちゃんのだったかも!!!」

年少さんならではの答えに、思わずふふっと笑ってしまいました。

そこへ、きっとクラスでの担任の先生の言葉をよく覚えていたのでしょう。「神さまの誕生日」と小さな、しかし自信に満ちた声が聞こえました。

年少さんにとっては、クリスマスがどういった日なのかをこれから知っていくところです。年少さんのハレルヤでは、聖書のお話を紙芝居や絵本を使ったり、お話だけではなく讚美礼拝で歌う歌も交えたりしながら話をしていきます。とっても真剣にお話を聞いている姿がありました。

2回目のハレルヤでも「クリスマスってどんな日だった？」と聞くと、「プレゼントー！」と声が返ってきて、アララ……と思った場面もあったのですが、その後も繰り返し繰り返し聖書のお話や歌に触れていくうちに、「神さまの誕生日」と答えが返ってくるようになってきました。

幼稚園に入園して、初めてお祈りや讚美歌そして神さまに触れた子が多いと思います。しかし、これまでの園生活を通して、だんだんと神さまが身近な存在へとようになってきているのだと思います。

ご家庭でも、クリスマスについてぜひお子さんに聞いてみてください。

年少さんの配役をお伝えします♪

年少さんにも讚美礼拝には役があります。当日着る予定の衣装や冠も見せながら「3つの役があるんだけど、どれがいいか自分で考えてね」という言葉に、「やったー!」「何にしよう」「これに決めた♪」と嬉しそうに話していました。また一つ、クリスマスが楽しみになったようです。

中には、どの役にするかなかなか決まらない子どももいました。聖書のお話は分かってきたけれど、讚美礼拝のイメージがまだつかないのかもしれませんが。それでも、じっくりと考えて決めていく姿がありました。

<小さいてんし>

救い主誕生の嬉しい知らせを告げました



<小さいほし>

博士たちを馬小屋まで導きました



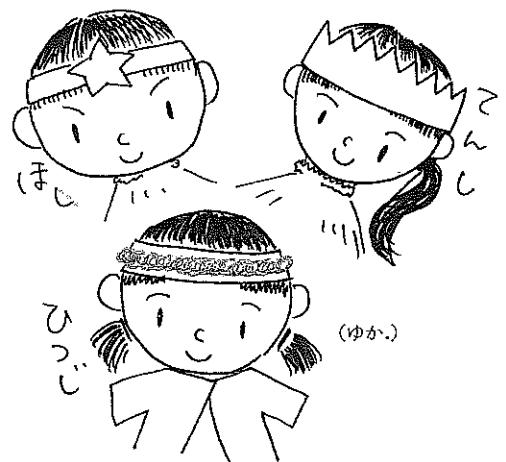
<ひつじ>

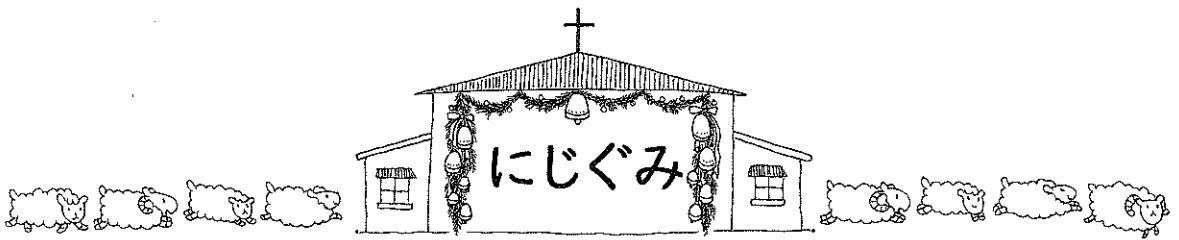
イエス様を一番にお祝いしに来た羊飼いさんと共にいました



讚美礼拝では、どの役の子も衣装と冠を着用します。てんし・ほしは洋服の上から白いケープを、ひつじは白い服を着ます。女の子は、冠をかぶりやすい髪型にしてきてくださいますようお願いいたします（耳より下で結ぶ髪型をおすすめします）。

衣装を持ち帰りますので、一度衣装を着てみて下に着る服を検討してみてくださいね。





朝夕の寒暖差が大きくなりましたが、日中の温かい時間帯にはまだまだ泥んこ遊びを楽しんでいます。泥団子もお兄さんお姉さんたちにさら砂をかけてこするなど、きれいなお団子の作り方を伝授してもらって、上手にできるようになった子もいますよ。また、学年のあつまりでは年少さんと一緒に園庭の遊具で遊びました。その経験で自由遊びの時間に、少し前は「こわいー」と言っていた滑り台やモンキーブリッジなど、果敢に挑戦してみる姿が見られるようになりました。

お部屋ではおりがみや空き箱をハサミで切ったり、テープで貼ったりして思い思いのものを作って楽しんでいます。「ママにおみやげにする!」「ばあばにあげる♡」そんな作品がいつの間にか引き出しに溜まっていることも…クリスマスの飾り作りなどもたくさん経験します。楽しみながら出来る事が増え、自信を積み重ねていけるといいなと思っています。

クリスマスってしてる?

「クリスマスってしてる?」の問いかけに「してるー!」「サンタさんからプレゼントもらった!」「クリスマスツリーかざった!」など様々な声が聞かれました。クリスマスってなんだかワクワクすることは子どもたちも感じているようです。どうして嬉しいのかな?どうしてプレゼントがもらえるのかな?と話していくと、皆はわからなくなって不思議顔。「本当はクリスマスってイエス様がお生まれになったとっても嬉しい日なんだよ。」とお話すると、「えー!?!」とびっくり。毎日お祈りしているイエス様のお誕生日だなんて…。体操のあとに年長さんが嬉しそうに「ハレルヤする人」と呼ばれあつまっていく姿や、幼稚園中に響き渡る讃美歌に心も弾んできます。

にじぐみのクリスマス礼拝はパネルシアターを使って、イエス様の誕生をお祝いします。

おうちの方も子どもたちと一緒に讃美歌を歌い礼拝を護りましょう。

にじぐみの皆もアドベントカレンダーを順番に飾りながら、その日を楽しみに待っています。

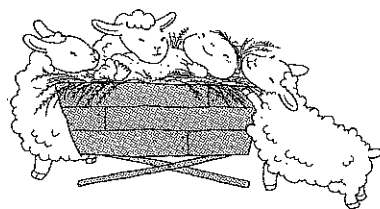
♪クリスマスのおはなし
♪やどさがし
♪よろこびうたえハレルヤ
♪ひがしのくにより
♪あるひうまごやで

♪かわいい 振り付きおうにいます。

※にじぐみのクリスマス礼拝ではやどさがし以外一番のみ歌います。



✳️ いよいよクリスマス ✳️



来週水曜日・木曜日には、クリスマス礼拝・讃美礼拝の日を迎えます。子ども達は11月中旬頃から少しずつ準備を進めてきました。献金箱やアドベントカレンダーの飾り作り、モミの木の飾り付け…目に見えることを通して、またクリスマスの意味を知っていくことやアドベント礼拝を重ねる中で、気持ちが高まること etc.

クリスマスの意味や子ども達のクリスマスへ向けての準備について理解を深め、お一人おひとりが心の準備をしていただきますように。これまでに発行したこどもニュースを読み返してみるのもオススメです。

— 讃美礼拝を共に捧げしてくださる方々へのお願いと確認 —

ご理解とご協力をお願いします

*クリスマス讃美礼拝当日の朝を穏やかな気持ちで迎える為にも「クリスマス礼拝/クリスマス讃美礼拝当日・警報時の日程変更について」(11/9 発行)と「クリスマス讃美礼拝のお知らせ」(11/30 発行)をお読み頂き、登園時間や持ち物などの確認をお願い致します。

*当日の欠席連絡は、8:30~:50 お願いします。また讃美礼拝中はインターホン・電話での対応はできません。ご了承ください。

*会場の都合上、保護者席は園児一人につき1席です。座席は決まっていませんので、お互いに譲り合ってお座りください。大勢の席を取ることは辞めましょう。(また9時を過ぎての入場は、立席となることがあります。ご注意ください。)

*子ども達の入場開始は、9:45 頃です。子どもの様子によって前後することがあります。入場開始以降の出入りは出来ません。やむを得ず、途中退室される方は、マナ側の扉をご利用ください。

*2000 年前、初めてのクリスマスは暗い小さな馬小屋で、静かに厳かにイエス様をお迎えしました。讃美礼拝中はその馬小屋のように遊戯室全体を暗くし、心静かに行われます。保護者方々にも携帯電話や音の出る電子機器などの電源を切る、カメラやスマホ、タブレットでの撮影禁止などのご協力をお願いします。

*礼拝後、子ども達は着替えを済ませ、各クラスにて帰りの支度をします。保護者の方は、この間に遊戯室の片付けなどお手伝いくださると助かります。

細かな点までお願いしましたが、何よりも願っているのは、“イエス様を中心に”多くの方々と礼拝を捧げることです。当日は、子どもたちと保護者のみなさまと共に喜びの時間が持てますように…